〔学科目区分：ピアノ調律／ヴァイオリオン製作／ギタークラフト／ドラムカスタマイザー／管楽器リペア〕

番号：学科目名	177	ピアノ調律実習　１年	24単位 16単位	通年
指導講師	ピアノ調律科指導講師			
授業のテーマ	ピアノ調律科１年の必修科目。実技はマンツーマン方式で丁寧に指導します。授業はグループに分けて行います。グループ分けはオリエンテーションで発表します。音楽的素養のもと、自らピアノ演奏もできメカニックの説明もできるという万能な調律師を目指し養成しています。在学中に国家資格３級取得を目指します。			
受講対象	ピアノ調律科１年生の必修科目。その他専攻学科生は履修できません。			
授業計画及び内容	（実技） １年目の実技は調律を中心に行ないます。ピアノの中音域を中心に、ユニゾン、オクターブ、基音取り、割振り（音階作り）を実習後、範囲を低音域及び高音域に広げていきます。調律実習と並行し、実際に外装やアクション（ピアノ内部部品）の脱着等も実習します。 （学科） ピアノの歴史・構造、調律の音響学、調律の理論、整調の理論と実技。 ピアノ調律師の資格は国家試験制度となっています。国立音楽院は、その試験会場の１つとなっていますので、日頃より慣れている環境で受験することができます。 社会人の方でもなるべく無理なく受験ができるように、個人個人の相談を承ります。仕事等で指定授業時間に出席できない時期ができた場合等は、自主練習もできるように常時実習教室を開放しています。 ※研修旅行もあります。（自由参加） 　交通費・宿泊代・工場見学　（￥３５，０００～￥４０，０００） ☆「ピアノ調律の学科試験対策１年（土曜日・14:00～）」必修となります（科目番号１９２）。			
教材・参考書	国立音楽院ピアノ調律科オリジナル学科資料を配付します。 調律工具･消耗品費一式の購入。（詳細は募集要項を参照してください。）			
成績評価の方法	前期・後期試験で行なう、実技と筆記で評価します。			
履修上の指示事項	必要に応じて、その都度説明致します。			

〔学科目区分：ピアノ調律／ヴァイオリオン製作／ギタークラフト／ドラムカスタマイザー／管楽器リペア〕

番号：学科目名	178	ピアノ調律実習　２年	24単位 16単位	通年
指導講師	ピアノ調律科指導講師			
授業のテーマ	ピアノ調律科２年・研究科の必修科目。実技はマンツーマン方式で丁寧に指導します。授業はグループに分けて行います。グループ分けはオリエンテーションで発表します。音楽的素養のもと、自らピアノ演奏もできメカニックの説明もできるという万能な調律師を目指し養成しています。在学中に国家資格３級取得を目指します。			
受講対象	ピアノ調律科２年生・研究科生の必修科目。その他専攻学科生は履修できません。			
授業計画及び内容	以下の項目、アップライトピアノ習得後にグランドピアノでも実習します。 ＜調律＞ ピアノ１台全鍵仕上げを中心に行ないます。 仕上げの精度を上げるため、検査音程や機械測定等を導入します。 ＜調整＞ アクション（ピアノ内部部品）を調整し、正常に音が出るように、更には心地よく演奏ができるよう実習します。 ＜修理＞ 故障・破損・劣化したピアノの部品を修復できるよう実習します。 ＜整音＞ 音色・音量・音の伸び等を調整する整音技術を実習します。 ＜塗装＞ 外装の塗装面に付いてしまった傷を修理できるよう実習します。但し、塗装実習は希望者のみ対象となります。 （教材費２８，０００円） ピアノ調律師の資格は国家試験制度となっています。国立音楽院は、その試験会場の１つとなっていますので、日頃より慣れている環境で受験することができます。社会人の方でもなるべく無理なく受験ができるように、個人個人の相談を承ります。仕事等で指定授業時間に出席できない時期ができた場合等は、自主練習もできるように常時実習教室を開放しております。 ※研修旅行もあります。（自由参加） 　交通費・宿泊代・工場見学　（￥３５，０００～￥４０，０００） ２年生は週に３時間×３日に加えて、A・Bクラスの時間外でプラス２時間実習に出席してください。			
教材・参考書	工具類は、初年度に購入していただいたものを引き続き使用します。その他の消耗品は、その都度配布します。			
成績評価の方法	前期・後期試験で行なう、実技と筆記で評価します。			
履修上の指示事項	必要に応じて、その都度説明致します。			

〔学科目区分：ピアノ調律／ヴァイオリオン製作／ギタークラフト／ドラムカスタマイザー／管楽器リペア〕

番号：学科目名	179	調律　１年AB合同学科	４単位	通年
指導講師	ピアノ調律科指導講師			
授業のテーマ	国家資格であるピアノ調律技能検定の3級の筆記試験の対策授業です			
受講対象	ピアノ調律科１年生			
授業計画及び内容	学校オリジナルの教科書をもとに、ピアノ調律技能検定の3級の筆記試験対策を行います。 過去問から傾向と対策をして、座学で受講してもらいます。 前期、後期試験もこちらの授業で学んだことを中心に出題されます。			
教材・参考書	仮授業で配布されるオリジナル教科書をお持ちください。			
成績評価の方法	前期、後期試験の結果			
履修上の指示事項	ピアノ調律科１年生は、必ず受講して下さい。			

〔学科目区分：ピアノ調律／ヴァイオリオン製作／ギタークラフト／ドラムカスタマイザー／管楽器リペア〕

番号：学科目名	180	ピアノ解体修理講座	２単位	集中講座
指導講師	小原 直樹			
授業のテーマ	ピアノ解体修理（オーバーホール）の技術を学びます。			
受講対象	ピアノ調律科３年生及びピアノ調律科卒業生の希望者			
授業計画及び内容	全体的に部品の寿命が来たピアノを、一旦ばらせるところまで解体し、調整・整備・部品の交換をしながら再び組み立てて仕上げる作業を解体修理（オーバーホール）と言います。 完全オーバーホールは、全体的なピアノのしくみ、各部品の必要性、正常に音が出るまでの整調・調律・整音に至るまでを学べますが、１日８時間やったとしても３０～４０日かかる作業量です。 集中講座としては、全体の概要説明を１日、ピックアップした修理を何種類か実技で行うを１日単位で開催します。			
教材・参考書	別途、材料費がかかる場合があります。			
成績評価の方法				
履修上の指示事項				